

北海道新聞

夕刊

2004年

3月31日

発行所
北海道新聞社

〒060-8711
札幌市中央区大通西3丁目6
電話 011-221-2111

読者センター
電話 011-210-5888

インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp

ご購入申し込みは
0120-464-104

©北海道新聞社 2004



東京都港区の六本木ヒルズ内に飾られた笑顔のポスター
2003年

600人の顔とメッセージ

アートプロジェクト「メリー」はこれまで、東京のほか、同時多発テロから1年後のニューヨーク、震災からの復興を目指す神戸など国内外で企画された。不況やテロ、災害などで打ちひしがれるマチに、再び笑顔を呼び戻そうという水谷さんの思いがある。

「あなたにとって幸せとは」との問いに対する答えをメッセージしてもらい、写真に付け加えてポスターやパネルにする。神戸では2002年、500人分の笑顔を工事用フェンスのパネルにしたり、駅にポスターを張り出すなどして、マチに飾った。拓銀の破たん以来、すっかり元気

を失っている北海道も「笑顔が足りない」というわけだ。プロジェクト事務局によると、すでに顔写真約600人分の撮影は終了。札幌駅前通のうち、大通一ススキノ間の札幌4番街商店街がギャラリーとなり、ビルの懸垂幕や壁面の広告スペース、街灯を「笑顔」で埋める。

最終日の5月30日(ごみゼロの日)には、「街の素顔を取りもどそう」と大規模なごみ拾いも予定している。プロジェクトの詳細はインターネット上のホームページ(<http://www.2lmerry.net>)で紹介している。問い合わせは同商店街内の事務局 ☎011・231・5475へ。

ギャラリーはビル壁、街灯



神戸市内の工事現場を囲む笑顔のパネル=2002年

笑顔の写真で街包もう

札幌中心街で5月アートプロジェクト

「ごっこり」「はいにっら、シャッターを押し続けろ。最初のカメラのシャッターを切った後、安堵でモデルの表情が緩む瞬間、もう一台のカメラで自然な笑顔を狙うという寸法だ。それをリスミカルに繰り返す。カメラは、台でも良さそうなのだが、その不思議な動作が、笑顔を誘うス

「ごっこり」「はいにっら、シャッターを押し続けろ。最初のカメラのシャッターを切った後、安堵でモデルの表情が緩む瞬間、もう一台のカメラで自然な笑顔を狙うという寸法だ。それをリスミカルに繰り返す。カメラは、台でも良さそうなのだが、その不思議な動作が、笑顔を誘うス

東京のアートディレクター水谷孝次さん(52)の仕掛けによるアートプロジェクト「メリー(幸せ)・イン・サッポロ」の準備が進んでいる。5月の1カ月間、三越札幌店やバルコなどが並ぶ札幌4番街商店街を市民の「笑顔」の写真ポスターで包もうという試みだ。東京や神戸、ニューヨークなどですでに催され、さまざまなメディアでも取り上げられた。笑顔は札幌を救うか。(石田悦啓)

仕掛け人・東京の水谷さん

小型カメラで撮影

■2台を駆使
まだまだ冷たい風が吹く三月中旬の平日、札幌市の中心街で、道行く若い女性にカメラを向ける水谷さんの姿があった。手にしているのは、「いかにも」の一眼レフでも、最新のデジタルカメラでもない。両手にポケットカメラが一台ずつ。撮影現場を訪れた札幌市内の高等学校生新関理絵さん(18)がカメラの前で目いっぱい笑顔を見せる。一枚撮影する度に器用に別のカメラに持ち替える。一枚をすかさず撮



新聞さんの笑顔をカメラに収める水谷さん



「ピュアな表情を大切に」

水谷さんによると、この方法は歌手宇多田ヒカルさんのCDジャケット撮影でも知られるアメリカの写真家、リチャード・アベドン氏もよく使うやり方なのだそう。「普通の人の本当のピュアな笑顔、つくりものではない素の笑顔を大切にしたい」。数多くの著名な商業ポスターを手がけてきた末に達した結論だった。被写体とコミュニケーションしつつも、カメラマンはできるだけ存在を消す。すてきな笑顔を撮影する機会を聞くと、難しそうな答えが返ってきた。こちらの頭の中を見透かしたように「難しく考えなくていいです。この世が一番いい笑顔の写真は、親が撮影する子供の表情、これに勝るものはない」とアドバイスしてくれた。

モデルは民市

ただでさえ細い目が、笑うと消える。小柄で威圧感のない、表情。お年寄りから道順を聞かれやすいタイプとみた。すてきな笑顔を撮影するのは、カメラマンにもメリーな笑顔が必要なのだ。

■自然体貫く

バイスのようだ。